

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
令和4年度 第4回理事会 議事録

開催日時：令和4年10月15日（土）14時より

開催場所：Zoomによる会議

出席者：帖佐、榊間、金森、安藤、浅野、棚村、清水、岡村、荻谷、高橋、日比、日下部、
白田、赤坂、近藤、高原、池戸、武藤、澤野、市川、森本

欠席者：林、河村、伊藤

議長：棚村（会長）

議事録：高橋（庶務部長）

【各種連絡事項】

議長：棚村会長により進行された。

【日臨技・県・その他】〔棚村会長〕

1. 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更について、厚生労働省医政局医事課から周知依頼があった。主には、「With コロナに向けた政策の考え方」に基づき各種の変更がなされている。
2. 日臨技から会費の送金があった。1名の入会金および会費の合計で8,500円。
3. 日臨技より政策渉外関連調査における施設登録について選定の依頼があった。選定施設については、棚村会長が登録可能と思われる施設に依頼をする。
4. 日臨技貢献賞（個人）の推薦依頼があった。例年、中部圏支部より1名選出されており、中部圏支部学会の担当県から選出されている。選出については棚村会長に中部圏支部に確認してもらう。
5. 「HIV 暴露事故後の感染予防薬配置・提供要領」について、以下の医療機関名の改正があった。（変更前）木沢記念病院→（変更後）中部国際医療センター
6. 岐阜県歯科医師会より、健康日本21を踏まえた県民の口腔の健康づくりに関する啓発イベントとして、11月3日に「歯と健康の県民フォーラム」の開催案内があった。岐臨技としては、岐臨技事務所より定期便で資料を各施設に送り、会員に知ってもらうようにする。

【学術部】[森本学術部長]

1. 病理部門研修会について（9月10日開催）

収入については参加者が予定されていた半分程度であったため、予算書の半分程度の金額であった。支出については部門長の努力により、特に器材費などを減らして予算書の半分程度まで減らす事ができた。予算書では岐臨技の負担は0円であったが、最終的には30,582円の赤字となった。（賛成多数で承認された）

2. 病理・細胞部門研修会について（11月13日開催予定）

日臨技の助成金（50,000円）を申請、岐臨技会員講師料は8,000円、外部講師料（時間は60分、名古屋第一赤十字病院・臨床検査技師の先生）について10,000円と設定した。日臨技には収支0円で報告。（賛成多数で承認された）

[森本学術部長]

日臨技の助成金について、支出が助成金を大きく下回る場合、助成金を申請してよいのか。

[浅野理事]

本来であれば、岐臨技の負担軽減が目的なので、わずかに赤字程度の収支がよいのではないかと。大きく黒字にならないように努めてもらったほうがよい。

[森本学術部長]

以前、日臨技に決算書を送ったときは、「支出の1割程度の黒字ならよいが、それ以上の支出の場合は認められない」と返答があった。

[浅野理事]

助成金の申請については学術部としてしっかり予算立てをする必要はあると思う。

3. 生物化学分析部門研修会について（12月2日予定）

収入は0円、岐臨技会員講師料は1,000円、外部講師料は10,000円（岐阜大学医学部附属病院技師長、愛知県所属）（賛成多数で承認された）

4. 技師会誌について

見積もり額は272,965円（350冊）。今回は1社のみの見積もりだが、次回からは相見積もりをとるようにする。（賛成多数で承認された）

[森本学術部長]

学生が筆頭演者でもよいのか。

[棚村会長・浅野理事]

正会員の投稿と学生の投稿があればよいのではないかと。

[森本学術部長]

現時点では正会員の投稿はない。

[浅野理事]

学術部からのほたらきかけとして、中部学会や県学会で発表した正会員に投稿（発表内容の論文での投稿）の案内をしたらどうか。

[棚村会長]

筆頭演者が学生の場合のみは投稿を見送るということでしょうか。(賛成多数で承認された)

【会計部】[荻谷会計部長]

8月の月別集計の主だった所を報告する。収入の部について、賛助会員会費 217,000 円、精度管理参加費 277,000 円、日臨技の助成金 500,000 円。支出の部について、Z o o mの使用料 257,690 円、各研修会の日当 18,000 円、登記料 47,159 円。

9月分までの確認作業は終了している。次回の理事会で中間決算報告として報告する予定。来年度の予算作成について、各部長および理事へ予算作成の書類を送り、12月中には回収したいと考えている。来年度の県学会（岐阜地区）と拡大研修会（中濃地区）の予算についてもお願いしたい。

【組織調査部】[澤野組織調査部長]

1. 検査と健康展について

一部の企画が届いておらず、今回は報告ができない。次回の理事会の承認では間に合わない
ので、後日、電子的な承認で願います。

2. HIV無料検査会およびHIV予防啓発運動について

毎年11月にHIV無料検査会および予防啓発活動を行っていたが、ここ2年はコロナにより開催できていなかった。今年度の開催について県に問い合わせた所、HIV無料検査会は松波総合病院に委託したとのこと。HIV予防啓発運動は西濃保健所に問い合わせているが現時点では開催は未定。来週にも再確認する。

【精度管理】[武藤精度管理事業部長]

岐臨技精度管理サーベイについて、先月末に一次評価を行った。現在、二次評価を行っている。
10月22日予定の会議にて今年度の評価が決定する。

【広報宣伝部】[市川広報宣伝部長]

1. 広報誌について

11月に発送予定の広報誌について、内容はタスク・シフト実技講習会（8月）、韓国で行われた世界医学検査学会の参加レポート、施設紹介、今後の事業予定、来年の県学会の案内（東濃で開催予定）。発送は11月18日を予定している。

2. バナー広告について

10月に岐臨技事務所から、今年の12月から来年の11月末までのバナー広告の継続および新規の案内を送った。以前は5社あったが現在は3社、できれば5社は確保したい。理事の方にはメーカーの営業にバナー広告を薦めてほしい。

【岐阜地区】[安藤理事]

岐阜市から「岐阜市民健康まつり」の延期について、プレスリリースの発表があった。

【飛騨地区】[岡村副会長]

特になし。

【西濃地区】[清水副会長]

特になし。

【中濃地区】[臼田理事]

来年の拡大研修会の準備を始めているので、決まり次第報告する。

【東濃地区】[棚村会長]

来年度県学会について、オンデマンドでの開催を東濃地区理事会で決定した。オンデマンド配信の業者は相見積もりで決定するが、現時点ではコムラ（以前、中濃地区で利用）からの見積もりが届いている。

【会費値下げタスクホースより】[浅野理事]

2021年度は約1,700,000円の黒字決算であった。

岐臨技会員は現在950名ほど、現状の技師会運営を継続していくのであれば、1,000円の会費値下げは可能と判断される。

- ・推定黒字1,700,000円－950,000円（950名×1,000円）＝750,000円
750,000円－500,000円（マンション老朽化による事務所維持費用）＝250,000円
- ・会費を2,000円値下げの場合、岐臨技会員950×2,000円＝1,900,000円ですでに赤字に突入、収益を上げる必要がある（部門研修会、県学会、拡大研修会の参加費）

以上より、タスクホースからは来年度1,000円の値下げを提案したい。

会費の値下げには総会の承認が必要。2023年度の会費は特例として、理事会承認による会費の値下げを行う。2024年以降の会費は総会での承認により値下げを行う。今回の提案の承認を急ぐ理由は、12月に日臨技へ会費設定が必要なため。（全会一致で承認された）

【その他】[浅野理事]

1. 事務所の移転について

マンションの老朽化や管理会社の撤退により、事務所の維持費用が今後不透明。早急に事務所の移転を考えていく必要がある。

2. 次年度の事業計画について

今年の12月中に次年度予算案は会計部長へ、次年度事業計画は庶務部長へ送ってほしい。
来年1月の常務理事会で内容を確認し、2月の理事会で承認の予定。

3. 次年度年間予定表について

岐臨技の事業、理事会などの予定を書き込んだエクセルベースの表をホームページにアップする。棚村会長へお願いしたい。各地区においても11月～12月に地区理事会にて次年度計画・予算計画をたてる必要がある。

【県医師会精度管理調査の統合について】〔榎間監事〕

令和5年度以降の県医師会精度管理調査の岐臨技との統合について、県医師会と話し合いを進めている。

岐臨技所有の冷凍庫の維持管理、電気代を岐阜市民病院が負担している。岐臨技から維持のための経費はなく、2年ほど前から冷凍庫の移設をお願いしている。昨年、岐臨技事務所へ移設する案があったが、懸案事項となっている。岐阜市民病院の負担（電気代、場所、維持管理）が大きいため、岐臨技事務所へ移設してほしい。武藤精度管理部長には県医師会で管理してもらおうのどうか、との意見を頂いているが、県医師会からはその件について質問もきている。

医師会の精度管理調査に参加している半数程が岐臨技の精度管理調査に申し込んでいる。統合すれば経費、参加費の負担が軽減できる。昨年まで県医師会は試料の発送、データの集計を岐大へお願いしていたが、岐大が手を引いたため、岐阜市民病院へ丸投げされている。共同運営になると県医師会からは70万円の事業資金が提供されるので、岐臨技精度管理部ではそれを使って経費削減と精度管理部の負担を減らせないか、共同運営について進めているところである。

〔浅野理事〕

冷凍庫の電気代は岐阜市民病院から岐臨技へ請求しているのか。

〔榎間監事〕

請求していない。設備上の理由で冷凍庫単品の電気代を出すことができない。

〔浅野理事〕

冷凍庫が大きすぎるため、岐臨技事務所の入り口を通過できないのではないかと。岐阜市民病院で冷凍庫の預かり期限を決めてもらえないか。

〔榎間監事〕

冷凍庫があることにより、岐阜市民病院のスタッフから負担が大きめという意見が挙がっている。

県医師会との共同運営では、試料発送については医師会館の会議室を提供してもらえるとという確約を頂いている。冷凍庫については医師会館が土日無人になるため、故障時などに対応ができず、冷凍庫の内容物の保障ができないとのこと。岐阜市民病院においても同様の理由で故障の場合の保証はできない。

〔浅野理事〕

使用している冷凍庫を廃棄して、見合ったものを購入するという案もある。

[武藤精度管理部長]

場所の移動の問題（生化学の検体）、以前に岐臨技からの共同運営の提案を県医師会が断られた、市販の試薬では機械間差など精度管理がしにくい、血液製剤の使用はHbA1cなどの問題がある。

一番の問題は参加の形式について、JAMTQC登録は絶対条件。県医師会（開業医）からの参加はJAMTQCに登録する必要がある。全ての県医師会の参加施設のJAMTQC登録を確認してからでないといけない。

[棚村会長]

中部支部の会議で質問したが、富山、石川、三重、愛知、静岡は技師会が中心となって医師会の分も行っている。JAMTQC登録などの詳しいことはわからない。

[武藤精度管理部長]

参加費について、県医師会と岐臨技からの参加では異なるため、県医師会からの参加が増え、岐臨技からの参加が減るのではないか。

[榊間監事]

結果の集計や分析は、県医師会と岐臨技を区別せず参加施設全体を対象とし、医師会専用のもの（項目は臨床化学・HbA1c・血液CBC）を作成する。

[武藤精度管理部長・浅野理事]

県医師会から参加した施設と岐臨技から参加した施設を区別する必要がある。

[浅野理事]

冷凍庫に関してはなるべく早い段階で廃棄する方向で進めたらよいのではないかと。また、冷凍庫をなるべく使わない運用の検討も必要ではないかと。

[榊間監事]

冷凍庫に関しては今後も暫く岐阜市民病院で預かるということになるのか。

[浅野理事]


新しい冷凍庫の購入で精度管理事業が成り立つのかどうか重要。


[武藤精度管理部長]


このまま岐阜市民病院の迷惑になってはいけない。今月の精度管理部の会議で生化学の担当と話をする。3次サーベイがなければ冷凍庫の内容物は廃棄して、電源を落とせるのではないかと。新しい冷凍庫の購入について、見積もりは精度管理部でとればよいか。

[棚村会長]

方向性として、冷凍庫は年度内で廃棄する。新しい冷凍庫は大きさを確認してから購入する。新しい冷凍庫が納品され次第、古い冷凍庫を廃棄する。新しい冷凍庫の大きさについては武藤精度管理部長に確認してもらう。

議長 棚村 一彦  印

議事録署名人 清水 康之  印

議事録署名人 岡村 明彦  印